

議会だより第25号

平成23年第4回定例議会

第4回定例議会が平成23年12月6日から22日までの17日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された15議案及び人権擁護委員候補者の推薦が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。

このほか、最終日に議員提出議案が1件提出され、審議の結果、可決されました。また、議会に寄せられた請願2件について審議が行われ、1件については採択し、国会等への意見書が可決され、関係機関へ送付しました。

平成23年第1回臨時議会

第1回臨時議会は、平成23年11月28日に開催され、専決処分の承認を求めると及びいすみ市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、2議案を可決、承認しました。

平成23年第4回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号	いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	いすみ市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	いすみ市道路線の認定について（市道夷478号線～市道夷625号線）	可決
議案第5号	いすみ市道路線の認定について（市道大3252号線）	可決
議案第6号	いすみ市道路線の全部廃止について（市道大3034号線）	可決
議案第7号	平成23年度いすみ市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第8号	平成23年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第9号	平成23年度いすみ市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第10号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決
議案第11号	いすみ市須賀谷ほか20地区テレビ地上デジタル放送受信対策施設整備工事請負契約について	可決
議案第12号	いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任について（渡邊康俊氏）	同意
議案第13号	いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任について（鶴岡芳和氏）	同意
議案第14号	いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任について（河崎英俊氏）	同意
議案第15号	いすみ市教育委員会委員の任命について（麻生 学氏）	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（栗山富久江氏）	同意
報告第1号	専決処分の報告について	報告
請願第1号	「地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書」提出を求める請願書	採択
請願第2号	県立岬・大原・勝浦若潮高校の統合案の撤回を求める意見書提出を求める請願	不採択
発議第1号	軽油引取税の課税免除制度の存続を求める意見書について	可決
発議第2号	議員の派遣について	可決
発議第3号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書について	可決

委員会
審査
報告

12月14日と15日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案を審査しました。

ここでは、委員会で行われた主な質疑及びその答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案4件について審査を行いました。

議案第7号 平成23年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 災害用備蓄物資整備事業について、乳児用ミルクの購入は考えているか。

答 保健師を含めて検討したなかで、スティック状の乳児用ミルクと使い捨ての哺乳

乳ビンの購入を考えています。

民生環境常任委員会

議案3件について審査を行いました。

議案第7号 平成23年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 生活保護費の扶助費に關連して生活保護受給世帯数はどれ位あるのか。

答 平成23年4月1日現在で202世帯252人でしたが、12月1日現在で217世帯276人です。

産業建設常任委員会

議案4件について審査を行いました。

議案第7号 平成23年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 有害鳥獣駆除対策事業に

ついて、年間の捕獲数はどれ位あるのか。

答 平成22年度の捕獲実績ですが、イノシシ191頭、キョン71頭、アライグマ376頭、ハクビシン197頭、タヌキ589頭、アナグマ34頭、カラス309羽、鹿2頭の捕獲がありました。

文教常任委員会

議案1件について審査を行いました。

議案第7号 平成23年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 岬公民館の調理実習室給湯工事について。

答 利用者からの要望もあり、岬公民館の調理実習室に給湯設備を設置する工事です。



Q&A

一般質問

市政をきく

第4回定例議会の一般質問は、12月8日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第4回定例議会の会議録は3月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重	議員	平成24年度予算編成方針／介護保険制度／市内の放射能測定／市民の命と財産を守る
高森和久	議員	幼稚園就園奨励費補助金制度の活用／平成24年度いすみ市一般会計予算編成方針／チャレンジデー参加の検討はその後されたか
田井秀明	議員	ポリオワクチンの接種／ロタウイルスワクチン／不育症／津波浸水対策
高梨庸市	議員	観光推進／危機管理
荒井正	議員	市長の政治姿勢／福祉の充実／交通対策／ごみの資源化、減量化対策
山口朋子	議員	子育て支援／雨水冠水対策／「救急医療情報キット」の取り組み
中村松洋	議員	暫定税率廃止に伴う対策

平成24年度予算
編成方針

岩井 豊重 議員

答 市民負担を少しでも軽減できるよう努力する

岩井議員 市民負担の点で、今年度特に国保税の負担が大きくなつたが、来年度の市民負担についてどのような配慮をするか伺いたい。

市長 国民健康保険を取り巻く環境は、高齢化の進展等の様々な要因により医療費は増加しており、また一方では、税収の伸び悩みなどにより国保財政は極めて厳しい状況が続いています。このような状況を踏まえ、今年度から徴収体制の強化を図り収納率向上対策、新たな取り組みとして糖尿病を重症化させない対策など医療費を減らす市民の健康づくり事業の実施を検討を進めています。来年度における国保税の市民負担については、一

層の収納率向上に努めながら繰越金を確保するとともに、医療費の適正化、また国保制度の充実等を図りながら、市民負担を少しでも軽減できるよう努力したいと考えています。

幼稚園就園奨励費
補助金制度の活用

高森 和久 議員

答 事業実施に向け検討する

高森議員 市外の私立幼稚園に就園を希望している保護者に対して、国の奨励費補助制度を導入し、経済的負担の軽減を図る考えはないか伺いたい。

教育長 幼稚園就園奨励費補助事業は、住所を有する市町村内又は市町村外の私立幼稚園に通園する園児の保護者の負担軽減を図るため、それぞれの市町村が要綱等を定め、一定の収入以下の世帯の園児を対象に幼

稚園が保育料等を減額した場合に、市町村が幼稚園に減額相当額を補助するもので、市町村が支出した補助金に対して3分の1以内で国庫補助金が交付されるものです。

市教育委員会としましては、幼児教育の推進、子育て支援の充実の面からも国庫補助制度を活用した就園支援事業の実施に向けて、前向きに検討していきたいと思えます。

ポリオワクチンの
接種

田井 秀明 議員

答 接種率の向上に向け、更なる啓発活動を行う

田井議員 生ポリオワクチンの接種率の低下について、市としてどのように考えているか伺いたい。

市民生活部長 生ポリオワクチンの接種率の低下については、不活化ポリオワクチ

ンが導入されるとの期待感によって、保護者が生ポリオワクチンの接種を控えたことによるものと思われませんが、ポリオのない社会を保つためには、接種率を高く保つことが必要であると言われています。

市民の皆さんには、ポリオを予防する唯一の方法がワクチンの接種であること、また免疫を持たない子供が増えることによりポリオが流行する危険性があることを広報紙などを通じて周知するとともに、予防接種に係るお知らせや各種健診等を活用して接種を促し、接種率の向上に努めています。更なる啓発活動を行いたいと考えています。

観光推進

高梨 庸市 議員

答 市民の方々の意見を聞き、制定時期等を含め検討する

高梨議員 原発事故に伴う風評被害等により観光客が減少しているが、県内外から市への集客を図るため観光キャラクターの導入についてどのように考えているか伺いたい。

総務部長 近年、全国の各市町村において様々なキャラクターが作製されており、観光客誘致あるいは地域活性化のためのPRに力を入れていきます。

市のオリジナルキャラクターを定めることは、市民の一体感を高め、広くいすみ市のPRに活用できるなど、まちづくりを進めていくため一定の効果があると考えています。

オリジナルキャラクターは市の顔にもなり、地域の活性化にも資することから、いすみ市にふさわしいオリジナルティあふれたキャラクターを作製する必要があり、また地域資源も数多くありますので、住民の皆さんや議会の意見を十分に聞きながら、制定時期等を含め検討していきたいと考えています。

市長の政治姿勢

荒井 正 議員

答
経済的な面や人材育成等で大きなマイナスになる

荒井議員 大原高校、岬高校、勝浦若潮高校の統合計画について、統合が及ぼす影響をどう考えるか、またこれからの取り組みについて伺いたい。

市長 来年度から5年間の間に計画が予定されている「第1次実施プログラム」において、本地域の高校再編が掲げられ、この内容で高校再編が実施された場合、単に中学生の進路選択の幅が減少するというだけではなく、夷隅地域全体にとって経済的な面や人材育成等で大きなマイナス要因になることは間違いありません。

今、それぞれの高校で動きが出てきており、そのこ

とを踏まえ、可能であればその会合等に参加させていただき、話し合いの中で私の行動はどうすればいいのか見きわめた上で、行動していきたいと考えています。

子育て支援

山口 朋子 議員

答
来年度からの実施に向け検討する

山口議員 ブックスタート事業について、本市で実施する考えはあるか伺いたい。

教育次長 ブックスタートは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と心触れ合うひと時を持つきっかけの場となり、親子の絆を深めるために絵本の読み聞かせは大変素晴らしい事であり、子育てを支援する上で、重要なことだと考えています。

県では、平成14年度から推進していますが、市にお

いても、関係課と協議し、ボランティアの募集、先進地への視察研修などを行い、来年度からの実施に向け検討していきたいと考えています。

実施内容につきましては、毎月保健センターで行われる4ヶ月検診時に読み聞かせボランティアの方の協力をいただき、1人1組を対象にブックスタートについての案内と読み聞かせを行い、絵本を手渡します。

暫定税率廃止に伴う対策

中村 松洋 議員

答
免税措置の恒久化は必要不可欠であるため漁協と連携し対処する

中村議員 地方税法等の一部を改正する法律により、軽油引取税の免税特例措置が平成24年3月31日で切れ、4月1日より1ℓあたり15

円の負担増となり、市の基幹産業である農・漁家の経営に大きな影響が出ると思いが、市としてどのように考えているか伺いたい。

市長 軽油引取税は、従来は道路特定財源であったことから、農林漁業生産に使用される軽油は免税となっていました。が、平成24年4月1日から免税措置が廃止されますと、農林漁業生産コストが増加するものの、農林水産物価格に転嫁することが難しいため、農林漁業経営に大きな影響を及ぼすこととなると予想されます。

市としましては、農林漁業者の経営を安定させ、将来の担い手を確保するためにも、この免税措置を恒久化することが地場産業の振興策上、必要不可欠であるとの考えに立って、今後とも漁業協同組合とも連携しながら対処していきたいと思えます。



市政を知るために 議会を傍聴しませんか

第1回定例議会日程(予定)

2月28日(火)10時 開会

議案の上程

3月1日(木)10時 一般質問

6日(火)10時 議案質疑

7日(水)9時 委員会

8日(木)9時 委員会

16日(金)10時 委員長報告

議案審議

閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受け付けをお願いします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

編集 議会だより編集委員会

0470-62-1406

ホームページアドレス

http://www.city.isumi.lg.jp/

lg.jp/

メールアドレス

gikai@city.isumi.lg.jp